「たくましく生きるぞ！」東京・中野のチャリティーイベントに福島いわきの中学生たちが参加「絆の街・縁が輪市（えんがわ市）」

来る７月31日（日）に、東京・中野の名刹「新井薬師
梅照院」でチャリティー・イベント「絆の街・縁が輪市」を開催します。この催しは、東日本大震災の復興支援活動の一環として、地元のタウン誌を発行している㈱エフ・スタッフルーム「おこのみっくすWEB＆マガジン編集部」（東京・中野区）が中心となって実行委員会を立ち上げ開催するもの。今回は５月に行われた第１回に続く、第２回開催となります。

【イベント内容・主旨】
風評被害に苦しむ被災地の野菜・物産品の販売のほか、被災地の食材を使って地元・中野の飲食店が調理したメニューの出品、被災地の復興リーダーを招いての車座トーク、新盆を前に不足する喪服を募集し被災地へ届けるリ・ファッション、仮設住宅で暮らす人に贈るユニークなチャリティーギフトの販売など、一方通行的なチャリティーではなく、被災地への支援と地元・中野の街おこしを結び付け、祭りに加わる多くの人たちの交流の場、東北と中野でエールを交換する、参加型のイベントを目指しています。

【福島いわきからスペシャルゲスト】
特に原発問題で先の見えない福島からは、いわき市内の中学生十数人を招き、中野の中学生たちと交流イベントを行います。いわきの中学生たちは地元の厳しい環境を肌で感じ、自ら立ち上がろうと、前日から中野・新井薬師に入りイベントの準備やチラシ配りの手伝い、当日の物産品の販売まで手伝いたいなど、様々な挑戦が行われる予定。「自分たちにできることは何か」を話し合っています。
また、第１回開催で反響の大きかった、いわきの伝統芸能「じゃんがら念仏踊り」の女性チーム「若柳幸奈美（わかやぎこうなみ）社中」が再び出演。新盆を前に、鎮魂の舞を披露します。

なお実行委員会では、現在、協賛および出店企業、個店・商店を募集中。問い合わせはおこのみっくすWEB&マガジン編集部（下記）まで。

■「絆の街・縁が輪市」　第２回
場所：新井薬師梅照院（中野区新井5-3-5）
期日：2011年7月31日(日)　10時～18時予定 ※雨天決行（荒天の場合除く）
主催：祭りの準備・絆の町中野チャリティー実行委員会
＜おこのみっくすWEB&マガジン編集部、中野
まちのエンガワ・プロジェクト、（社）日本リ・ファッション協会＞
後援：中野区、新井薬師・梅照院、（社）中野法人会、中野区商店街連合会、東京商工会議所中野支部、中野工業産業協会
★詳細ご案内サイト：http://www.oconomix.jp/
★本件に関するお問い合わせ
株式会社エフ・スタッフルーム おこのみっくすWEB&マガジン編集部
住所／東京都中野区弥生町4-34-8 東京・インテックスビル2階
電話／ 03-5340-3968　　FAX／ 03-5340-3969
Ｅ-mail　oconomixmag@f-staffroom.co.jp
以上

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com